

「エコロッカ」は、リサイクル/未利用資源を100%利用した新時代のエコロジー建材です。木材とプラスチックそれぞれの優れた特性を兼ね備えた新しいタイプの「木材・プラスチック複合材（WPC：Wood-Plastic Composites）」として、デッキ材、ルーバー材、ウォール材などとして、公共施設を中心に、学校・福祉施設や商業施設、一般家庭などさまざまな場所で利用されています。

今、再生木デッキを歩行すると発生する静電気が大きな問題となっています。



事例1

物件：東京都内 物件①

元請：C建設（A棟） / D建設（B棟）

工期：2018年 秋 竣工予定

状況：A棟：デッキ650㎡ / B棟：デッキ300㎡

2018年1月～3月にかけて、B棟（D建設）では、再生木デッキ材として、帯電性能を持つDK-2020V1を採用。

一方、A棟（C建設）では、帯電性能を持たない製品を採用した。

デッキ工事完成後、5月に入って、A棟で静電気が発生。（金属手すり等に触れると静電気を感ずる）B棟においては、静電気の発生がないため、現在、A棟のデッキ材をDK-2020V1に全面張替を検討中。

事例2

物件：福岡県内 物件②

元請：E建設

工期：2018年 秋 竣工予定

状況：商業施設外周デッキ 約6000㎡

2017年3月に再生木デッキ約6000㎡のうち2000㎡を某再生木メーカーF社の製品で施工完了。

施工後、静電気の発生が問題となり、E建設は、エコロッカを含むメーカーF、メーカーGの3社の再生木デッキ材を試験施工し、帯電性能の比較評価試験を半年間実施。

2018年2月、3社の比較評価試験の結果、エコロッカの帯電性能が最も高い事を確認し、既に施工が完了している2000㎡について、DK-2020V1で全面張替を決定、施工済み。

現在、残りの約4000㎡をDK-2020V1にて施工中。

Q. 静電気は、なぜおきるのか？

人間は、摩擦や衣類の擦れなどによって「プラス電気」を帯電していることが多くあります。その時に金属等と触れることで、金属の「マイナス電気」と一気に結合し電流が流れる、これが静電気による痛みの発生原因となります。再生木デッキの上を歩行すると、人間と再生木デッキの間で摩擦が加わり、人間は「プラス電気」を帯電し、余った「プラス電気」は「マイナス電気」と結合しようとして、人間が、金属性の手すりやルーバーハンドルに触れようとする瞬間に電流が流れ、静電気と呼ばれる「放電」が行われるのです。

静電対策デッキ DK-2020Vシリーズ

ECOROCA DECK 3大機能

様々な現場で磨き上げた、基本構造
ハイスpek製品を標準仕様でご用意しました



機能1



：静電気の発生抑制機能を標準設定とした高機能再生木デッキ材です。

（特許取得：帯電防止デッキ 6196823号）

機能2



：Vフィルター（非吸水性無機質リサイクル材）の配合により吸湿性を従来品の1/4にまで低減しました。

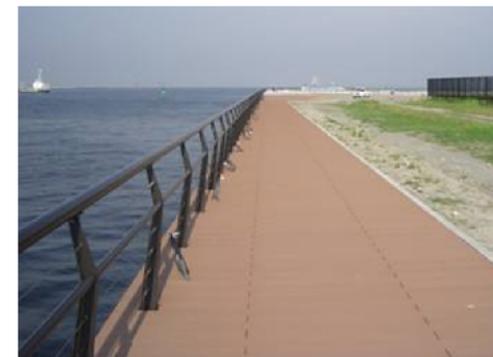
機能3



：表層の耐候性をUPし、チョーキング現象（色落ち）を低減しました。衣服への色移りを抑える配合をしています。また、V2グレードには、遮熱機能を設定し、表面温度の上昇を抑えました。本品に比べ、10～15℃表面温度が下がります。



病院屋上 リハビリ庭園



沿岸 ボードウォーク

ECOROCA 営業拠点

●東日本営業グループ

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目7番3号 築地ファーストビル9階
TEL 03-6226-5665 FAX 03-6226-5668

●西日本営業グループ

〒550-0005 大阪市西区西本町2丁目3番10号
TEL 06-6533-1009 FAX 06-6533-1097

●東日本営業グループ（長野）

〒381-0102 長野市若穂保科3340番地9
TEL 026-282-0033 FAX 026-282-0011

●東日本営業グループ（北海道）

〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西1丁目2番地
TEL 011-281-5384 FAX 011-281-5385